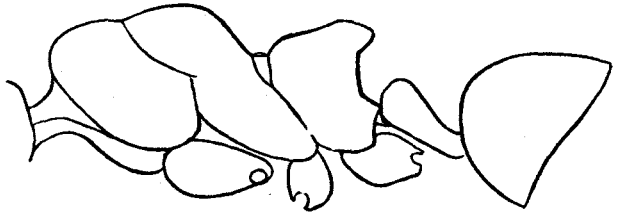


れて居る。額溝（額部中央の縦溝）は顯著でない。大腮は大きく、内側に齒を有する。觸角は12節よりなり。球棍部は不明瞭で、柄節及び鞭節の第1節と末端節を除く他の諸節は幅と同長である。下唇鬚は4節、小腮鬚は6節よりなる。胸部はよく發達し、各部の縫合線は明瞭である。前胸背は頭部より少しく幅狭く、



b

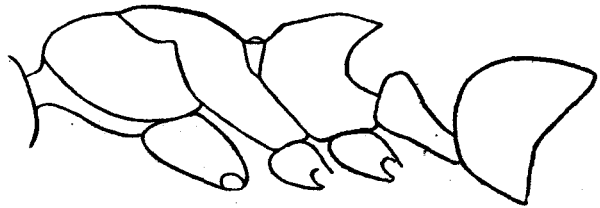


FIG. 2

- a. *Dolichoderes (Hypoclinea) abietis* KÔNO et SUGIHARA  
蟻 蟻（胸部及び腹部前方の側面圖）  
b. *Dolichoderes (Hypoclinea) quadripunctatus* (LINNAEUS)  
蟻 蟻（胸部及び腹部前方の側面圖）

前方は急に細まつて頸狀を呈し、點刻は甚だ強大である。中胸背は前胸背よりも高く、長さと同幅は略同長で點刻は前者と同様である。前伸腹節は斜後方に向つて高く突出するが、棘狀突起を有せず、上面から見るときは腹柄節を僅かに蔽ふて居る。點刻は前・中胸背よりも粗である。腹柄節はよく發達し、やや前方に傾斜して

居て粗らかな點刻を有する。腹部には點刻がない。

頭部は黒色、体の大部分は赤褐、腹部及び肢の基部は暗褐色、腹部背面第1・第2兩節上に各々1對の黄白紋を有する。

採集地：北海道（定山溪，16 ♀♀，5/vi. 1938，河野・杉原；真駒内，1 ♀，6/x. 1931，佐藤勝巳；札幌，1 ♀，10/vi. 1930，河野）。

標本は何れも北海道帝國大學昆蟲學教室に保存する。

本種はヨーロッパ産の *D (Hypoclinea) quadripunctatus* (LINNAEUS) に酷似して居るが、次の諸點により明かに區別することが出来る。

1. 頭・胸部背面の點刻は遙に強大である。
2. 額溝はあまり顯著でない。
3. 前胸背は頭部よりも幅狭い。
4. 前胸背前方の頸部に續く傾斜はより急である。